

受講者募集



「マナビイ」 *1

第33回 大学公開講座（受講者参加型） 日高ライブラリーカレッジ 一緒に学びませんか！

.....
選りすぐった直近の関心事・身近な話題をテーマに
「いきいきと楽しく学ぶ」をスタートしましょう！！

受講者参加型
受講者も運営に参加するなど、受講者間の
コミュニケーションを図ることも大切にしています

- 期間・回数 2024年8月17日（土）～11月16日（土）全7回
講師・テーマ 裏面の学習プログラムをご覧ください
会場 生涯学習センター（図書館）
受講対象者 どなたでも受講できます
定員 100名（申込順）
受講料 2,000円（教材費など） 初回受講時に、会場受付でお支払いください
*当日のみの受講もできます
(1回500円、小中生100円) 直接会場でお申し込みください
募集期間 2024年7月1日（土）～ 定員になり次第
申し込み 所定の申込用紙に必要事項を記入し、各公民館、
生涯学習センター（図書館）、生涯学習課へ提出、
または、市のホームページから申し込みください
問い合わせ 日高市教育委員会 生涯学習課 電話 042(989)2111

市ホームページ



健幸ポイント事業

-
- 主催 日高市
企画・運営 日高ライブラリーカレッジ企画運営委員会
～日高ライブラリーカレッジは、市と市民ボランティアとの協働事業として開催されます～

*1この原画は、文部科学省の依頼により故石ノ森章太郎(漫画家)が無償でデザインした生涯学習のマスコットマークで「学び」とミツバチの「bee」を合わせて「マナビイ」と言います。

第33回 大学公開講座 日高ライブラリーカレッジ

＜学習プログラム＞

※都合により、テーマや講師などが変更になる場合があります

日時・会場	テーマ / 講師 (敬称略)	講義内容
第1回	開講式 講義開始前	
8月17日(土) 13:30~16:30 生涯学習センター 視聴覚室	人新世の里山の活かし方 オークヴィレッジ創業者 稲本 正	日本人は、かつて「人と自然は一体化したもの」と考えていたが、自然を敵と見なした西洋の二元論が浸透して、地上動物の9割を人間と家畜で占める『人新世』になり、里山から薪や炭を取らなくなって荒れ放題になった。その里山を『食と健康の森』に作り直し『自給遊園』にすれば戦争とパンデミックも防げる。
	オリエンテーション 講義終了後	
第2回	太古の地球に最初の生命が 誕生するまでのみちのり 東京工業大学 名誉教授 丸山 茂徳	最初の生物は自然原子炉間欠泉で生まれました。まず無機化合物から初歩的な有機化合物が創られ、最後に巨大な有機分子からなるDNA-RNA, ncRNA、細胞膜の装置群 (ATP製造装置, 各種ポリン、プロトン、Na,K) とリボソームが生まれました。遺伝子の数は200-300で、自己複製まで行えます。
9月7日(土) 13:30~16:00 生涯学習センター 視聴覚室		
第3回	インバウンドブームと日本へのまなざし ～訪日外国人から見た日本の魅力～ 杏林大学 外国語学部 准教授 安江 枝里子	海外に行く日本人旅行者の数が伸び悩むなか、日本にやってくる外国人旅行者の数は増えています。彼らは日本のどんどこに魅力を感じているのでしょうか？また、彼らはどのように日本を楽しんでいるのでしょうか？国際観光の世界的なトレンドを踏まえうえて、訪日外国人から見た日本の魅力を考えていきましょう。
9月21日(土) 13:30~16:00 生涯学習センター 視聴覚室		
第4回	日本の農業における危機と未来 ～スマート農業を支えるセンサ技術～ 埼玉大学大学院 理工学研究科 准教授 長谷川 有貴	少子高齢化による人手不足や異常気象への対応など、日本の農業における「危機」を救うために導入が進められている「スマート農業」では、センサを用いた環境、生育状態の計測、自動運転やドローンなど、さまざまな最先端技術が使われています。この講演では、農業における課題解決のためのスマート農業を支えるセンサ技術とその活用について紹介します。
10月5日(土) 13:30~16:00 生涯学習センター 視聴覚室		
第5回	日本経済の課題と未来 一橋大学経済研究所 教授 宮本 弘暁	日本経済の潮目が変わりつつあります。2022年春以降、世界的なインフレを背景に、日本でも物価が上昇し、賃金も上がり始めました。また、今年3月には日経平均株価が34年ぶりに最高値を更新しました。一方、少子化は進み、円安も進んでいます。今後、日本経済はどうなるのでしょうか？本講演では、皆様と一緒に日本経済の現在と課題、そして未来について考えていきたいと思っています。
10月19日(土) 13:30~16:00 生涯学習センター 視聴覚室		
第6回	自分と大切な人の最期と 向き合うために 医療コーディネータージャパン(株) 代表 堀 エリカ	誰もが必ず迎える「死」をテーマに、①自分の死を紙上で体験する「死の疑似体験ワーク」への参加を通じて、生きていること、自身にとって真に大切なものを再考する、②大切な人との別れがもたらす喪失体験に寄り添い、支える「グリーフケア」を学ぶ、それぞれの機会とする。
11月2日(土) 13:30~16:00 生涯学習センター 視聴覚室		
第7回	シニア人生の人間関係を考える 立教大学 名誉教授 大野 久	職業からの引退、子育ての終了などにより、シニアの生活は大きく変化します。その後の生活をより充実するものにするためには、これまで当たり前だと思っていた人間関係も見直す必要があります。どうすればよりよい人間関係が築けるのか考えるヒントをご説明します。さらに次の世代へのバトンタッチしていく意義と方法についても考えてみましょう。
11月16日(土) 13:30~16:00 生涯学習センター 視聴覚室	閉講式 講義終了後	